

2023年12月期 第3四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters "AGC" in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the "A" and the "G".

AGC株式会社

2023年11月2日

Your Dreams, Our Challenge



2023年12月期 第3四半期業績	P.03
1. 業績のポイントと主要項目	P.04
2. セグメント別・地域別の状況	P.11
2023年通期業績の見通し	P.21
付属資料	P.28

2023年12月期第3四半期（累計）

	前年同期比	
売上高	14,838 億円	▲150億円
営業利益	955 億円	▲566億円
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	575 億円	▲412億円

- 売上高は自動車用ガラスの売上増加や為替の影響があったものの、塩ビの販売価格下落、ライフサイエンスの受託売上減少等により前年比減収
- 営業利益は原燃材料価格が下落したものの、上述の減収要因に加え製造原価の悪化などの影響から前年比減益

2023年12月期通期見通し

	前期比	
売上高	20,500 億円	+141億円
営業利益	1,500 億円	▲339億円

- 2023年8月発表時の業績見通しから変更なし

1. 業績のポイントと主要項目



2023年12月期 第3四半期業績

* うち、為替差影響は+757億円、連結範囲変更の影響は▲21億円

(億円)

		FY2022 1-3Q累計	FY2023 1-3Q累計	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高		14,989	14,838	▲ 150*	(+) 自動車用ガラス販売価格上昇 (+) 自動車用ガラスの出荷増加 (+) 円安 (-) 塩ビの販売価格下落 (-) バイオ医薬品CDMOの受託売上、フッ素関連製品の出荷が減少
営業利益		1,521	955	▲ 566	上記に加え、 (+) 原燃材料価格の下落 (-) 製造原価の悪化
税引前利益		1,652	992	▲ 660	上記に加え、 (+) 為替差益 (-) 前年同期に土地売却益を計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		988	575	▲ 412	
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 128.05	JPY 138.11		
	1EUR	JPY 135.95	JPY 149.62		
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	100.17	81.61		

セグメント別業績 前年同期比較

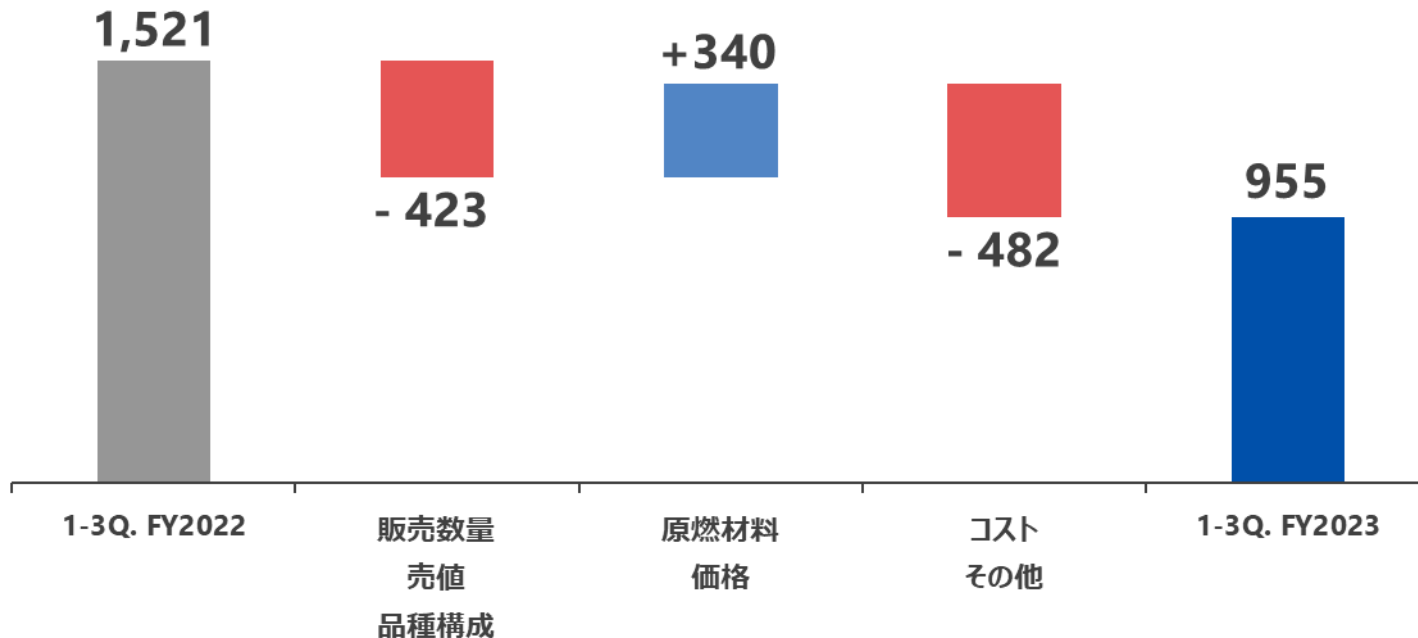
(億円)

	FY2022 1-3Q累計 (a)		FY2023 1-3Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	3,503	291	3,547	269	+ 44	▲ 22
 オートモーティブ	3,004	▲ 154	3,662	162	+ 658	+ 316
 電子	2,258	123	2,254	98	▲ 4	▲ 24
 化学品	4,978	1,074	4,255	479	▲ 722	▲ 595
 ライフサイエンス	1,066	155	918	▲ 77	▲ 148	▲ 232
 セラミックス・その他	648	34	601	26	▲ 47	▲ 8
消去	▲ 469	▲ 2	▲ 400	▲ 1	+ 69	+ 0
連結合計	14,989	1,521	14,838	955	▲ 150	▲ 566

営業利益増減要因分析(1-3Q. FY2023 vs. 1-3Q. FY2022)

前年同期比 566億円減益

(億円)



連結財政状態計算書

	(億円)			
	2022/12	2023/9	増減	
現金及び現金同等物	2,097	1,639	▲ 459	
棚卸資産	4,365	4,736	+ 371	
有形固定資産・無形資産及びのれん	15,148	16,285	+ 1,137	為替差影響 +1,072億円
その他	6,530	7,217	+ 687	
資産合計	28,140	29,876	+ 1,736	為替差影響 +1,789億円
有利子負債	6,502	7,330	+ 828	
その他	5,782	5,789	+ 7	
負債の部	12,284	13,120	+ 835	
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,903	14,648	+ 745	
非支配持分	1,953	2,109	+ 156	
資本の部	15,856	16,757	+ 901	為替差影響 +1,058億円
負債及び資本合計	28,140	29,876	+ 1,736	
D/E比率	0.41	0.44		

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)	
1-3Q累計	FY2022	FY2023
税引前利益	1,652	992
減価償却費及び償却費	1,375	1,309
運転資金増減	▲ 852	▲ 521
その他	▲ 595	▲ 319
営業活動によるCF	1,580	1,462
投資活動によるCF	▲ 791	▲ 1,293
フリーキャッシュフロー	789	169
有利子負債増減	224	421
支払配当	▲ 522	▲ 460
その他	▲ 98	▲ 715
財務活動によるCF	▲ 395	▲ 753
現金等に係る換算差額	289	126
現金等の増減額	682	▲ 459

自己株式取得
▲ 500億円

設備投資・減価償却費等

1-3Q累計

	FY2022	FY2023
設備投資額	1,502	1,542
建築ガラス	111	160
オートモーティブ	184	165
電子	553	385
化学品	440	579
ライフサイエンス	205	234
セラミックス・その他	10	20
消去	▲ 2	▲ 1

	FY2022	FY2023
減価償却費	1,375	1,309
建築ガラス	186	182
オートモーティブ	234	236
電子	513	395
化学品	347	376
ライフサイエンス	83	106
セラミックス・その他	14	16
消去	▲ 1	▲ 1

(億円)

	FY2022	FY2023
研究開発費	382	414

主な 設備投資 案件

- ディスプレイ中国G11投資（電子）
- ディスプレイ製造窯修繕（電子）
- 電子部材関連製造設備増強（電子）
- 東南アジアクロールアルカリ能力増強（化学品）
- フッ素関連製品能力増強（化学品）
- バイオ医薬品・合成医薬CDMO能力増強（ライフサイエンス）など

2. セグメント別・地域別の状況



1-3Q累計	FY2022	FY2023	増減
売上高	3,503	3,547	+ 44*
アジア	1,064	1,160	+ 96
欧米	2,433	2,378	▲ 55
(セグメント間)	6	10	+ 3
営業利益	291	269	▲ 22

* うち、為替差影響は+245億円、連結範囲変更の影響は+7億円

(億円)

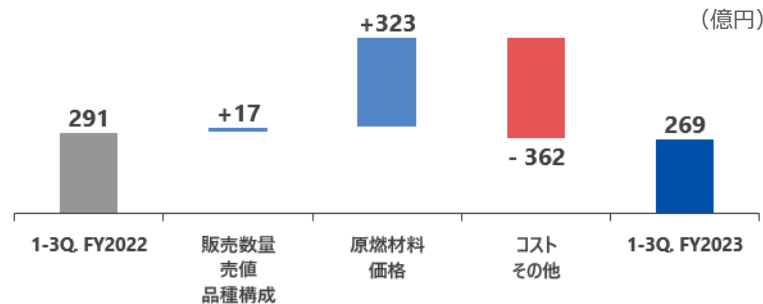
アジア

- 日本を除く地域で出荷が減少したものの、販売価格の上昇により増収

欧米

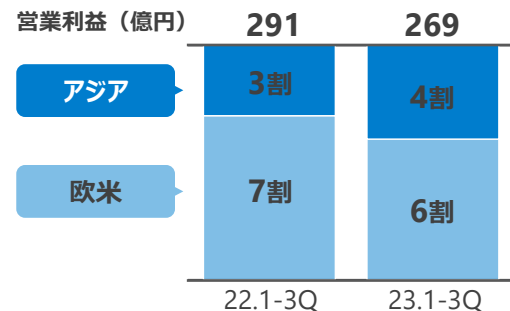
- 景気減速の影響を受けた欧州で出荷が減少し、販売価格が下落した結果、減収
- 天然ガス価格が下落するも製造原価が悪化

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



1-3Q累計	FY2022	FY2023	増減
売上高	3,004	3,662	+ 658*
オートモーティブ	3,002	3,659	+ 657
(セグメント間)	1	3	+ 2
営業利益	▲ 154	162	+ 316

* うち、為替差影響は+192億円、連結範囲変更の影響はなし

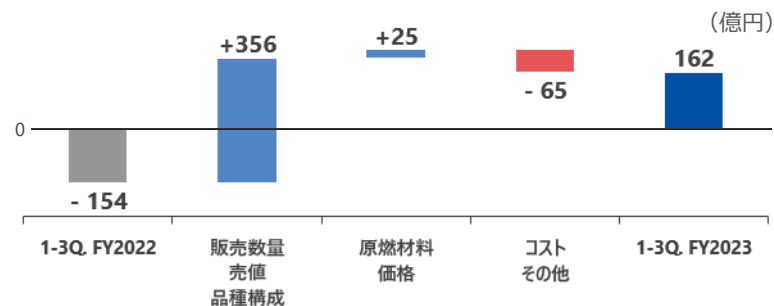
(億円)



自動車用ガラス

- 自動車生産台数の増加により、当社グループ出荷も増加
- 販売価格の上昇や品種構成の改善、為替の影響もあり増収・増益

営業利益増減要因分析



1-3Q累計	FY2022	FY2023	増減
売上高	2,258	2,254	▲ 4*
ディスプレイ	1,216	1,201	▲ 16
電子部材	1,025	1,045	+ 20
(セグメント間)	17	8	▲ 8
営業利益	123	98	▲ 24

* うち、為替差影響は+55億円、連結範囲変更の影響は▲26億円

(億円)

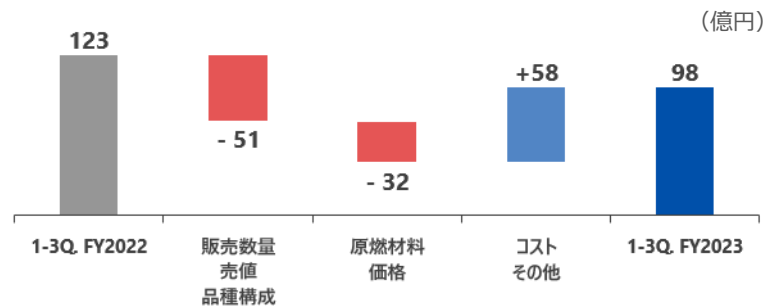
ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷は増加したものの、連結範囲の変更などにより減収
- 原燃材料価格が上昇

電子部材

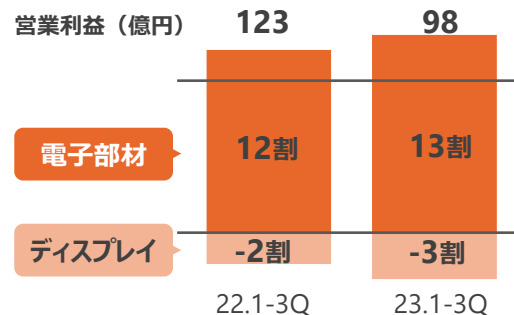
- オプトエレクトロニクス用部材の出荷は減少したものの、EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連製品の出荷が堅調に推移したことに加え、為替の影響などにより増収

営業利益増減要因分析



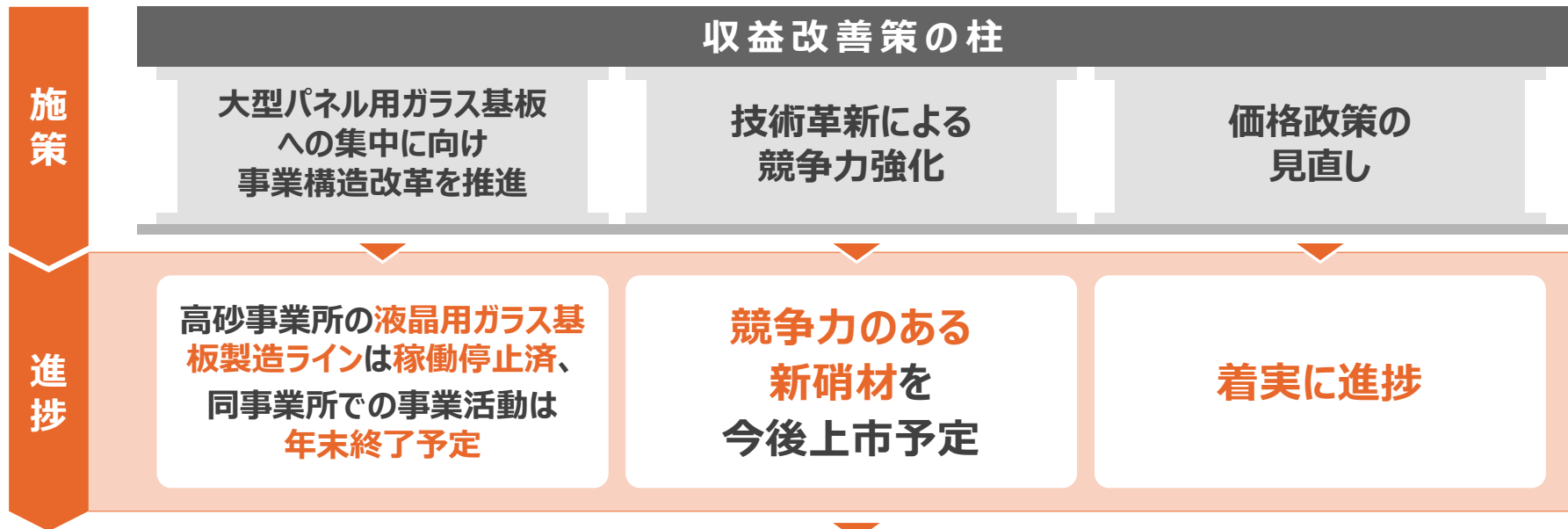
営業利益 構成比

共通費配賦前



(ご参考) ディスプレイ事業の収益改善策 進捗

- 収益改善策はそれぞれ着実に進捗



次期中計期間中に**ROCE 10%以上**を目指す

1-3Q累計	FY2022	FY2023	増減
売上高	4,978	4,255	▲ 722*
エッセンシャルケミカルズ	3,714	3,010	▲ 704
パフォーマンスケミカルズ	1,223	1,212	▲ 11
(セグメント間)	40	33	▲ 7
営業利益	1,074	479	▲ 595

* うち、為替差影響は+205億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

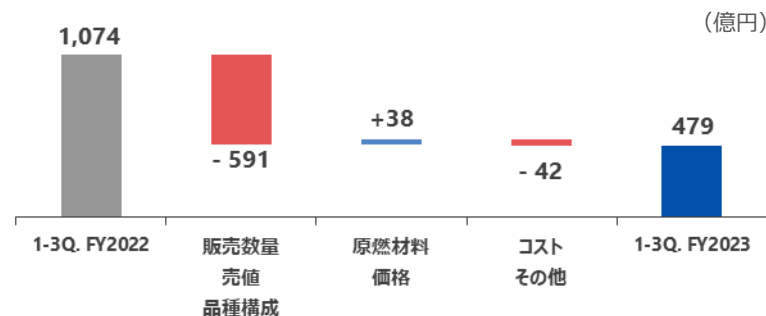
エッセンシャルケミカルズ

- 塩化ビニル樹脂等の販売価格が下落

パフォーマンスケミカルズ

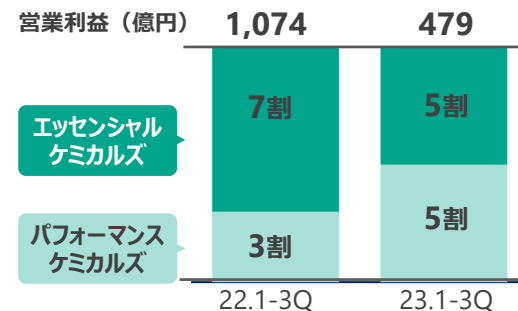
- フッ素関連製品の出荷は減少したものの、販売価格の上昇や為替の影響により前年並み

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



1-3Q累計	FY2022	FY2023	増減
売上高	1,066	918	▲ 148*
ライフサイエンス	1,039	902	▲ 137
(セグメント間)	27	16	▲ 11
営業利益	155	▲ 77	▲ 232

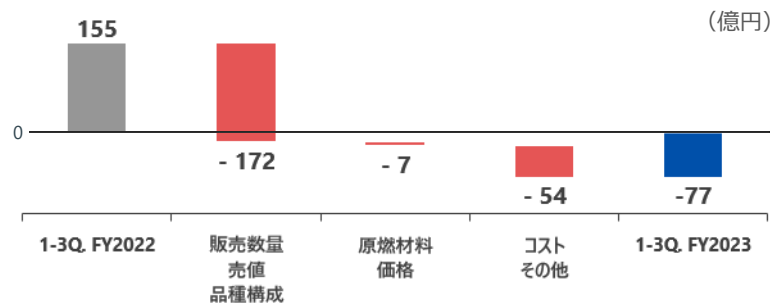
* うち、為替差影響は+58億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

🧬 ライフサイエンス

- コロナ特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減や、米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン立ち上げ遅延および設備改善のための稼働調整等により減収
- バイオ医薬品CDMOにおける能力増強に伴う先行費用等が発生

営業利益増減要因分析



(ご参考) バイオ医薬品CDMOの現状と見通し

- バイオベンチャーへの資金流入減によるマイナス影響が想定を上回る
- 米国新規ラインの**立ち上げは想定より若干後ずれも、年内に正常化の見通し**

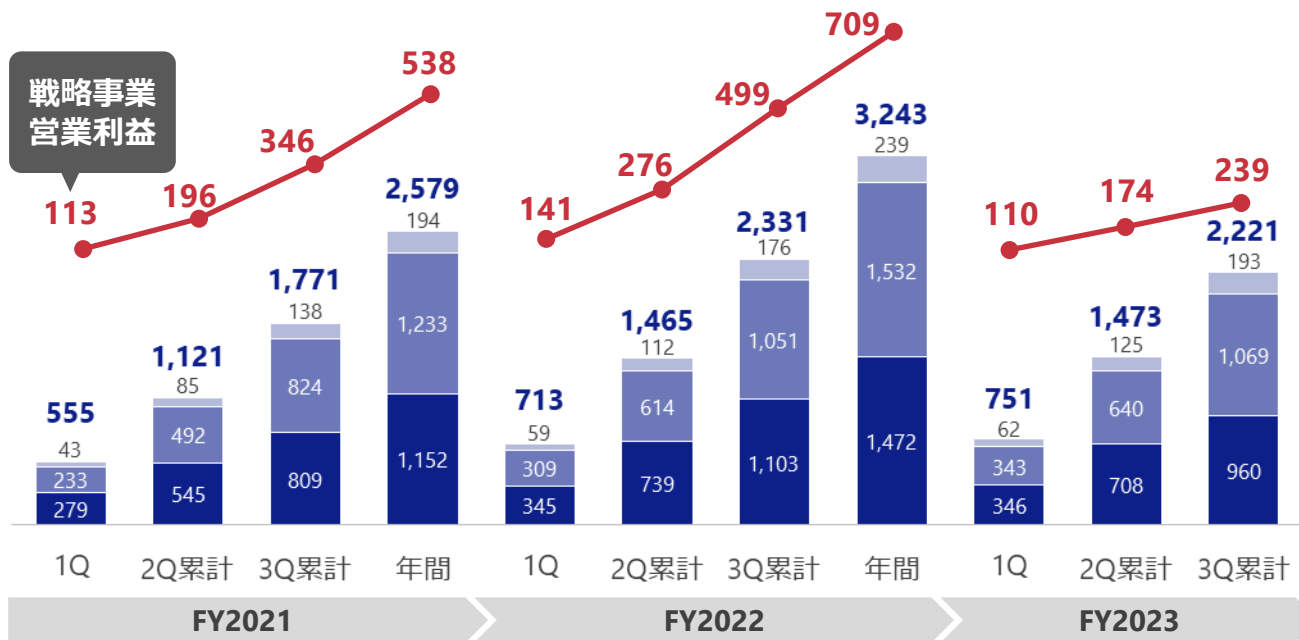
課題	現状	今後の見通し
事業環境 コロナ特需による反動減、 バイオベンチャーへの 資金流入減などの影響	▶ バイオベンチャーへの 資金流入減の影響が 想定を上回る	▶ 24年以降、徐々に 市場回復する見込み
新規ラインの立ち上げ 米国ボルダー工場における 新規ラインの立ち上げ遅延	▶ 抜本的な対策を実施し、 商用運転に向け進捗中	▶ 立ち上げは想定より若干後ず れも、年内には正常化し、24 年は収益に寄与する見込み

戦略事業の利益貢献

- 今期はバイオ医薬品CDMO（特に米国）が不調
- 半導体やスマートフォン市場の調整の影響を受け、エレクトロニクスも伸び悩む

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材（含5G通信）

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

地域別業績 前年同期比較

1-3Q累計	FY2022	FY2023	(億円) 増減
売上高	14,989	14,838	▲ 150
日本・アジア	9,673	9,321	▲ 352
アメリカ	1,523	1,623	+ 100
ヨーロッパ	3,792	3,893	+ 101
営業利益	1,521	955	▲ 566
日本・アジア	1,533	1,077	▲ 456
アメリカ	66	▲ 53	▲ 119
ヨーロッパ	222	273	+ 51
地域共通費用	▲ 301	▲ 342	▲ 41

為替差影響

+757億円

連結範囲変更の影響

▲21億円

2023年通期業績の見通し

2023年 通期業績見通し

■ 2023年8月発表時の業績見通しから変更なし

(億円)

		FY2022	FY2023e
売上高		20,359	20,500
	(上期)	9,783	9,853
営業利益		1,839	1,500
	(上期)	1,153	643
税引前利益		585	1,070
親会社の所有者に帰属する当期純利益		▲ 32	590
1株当たり配当 (円)		210	210
営業利益率		9.0%	7.3%
ROE		-	4.2%
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 131.4	JPY 135.0
	1 EUR	JPY 138.0	JPY 150.0
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	96.3	81.0
エチレン (CFR SEA)	USD/MT	1,054	870

セグメント別 売上高/営業利益見通し

(億円)

	FY2022 (a)		FY2023e (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,837	327	4,800	360	▲ 37	+ 33
 オートモーティブ	4,178	▲ 98	4,700	170	+ 522	+ 268
 電子	3,072	147	3,300	250	+ 228	+ 103
 化学品	6,604	1,261	6,000	710	▲ 604	▲ 551
 ライフサイエンス	1,418	169	1,350	▲ 10	▲ 68	▲ 179
 セラミックス・その他	866	37	850	20	▲ 16	▲ 17
消去	▲ 616	▲ 3	▲ 500	0	+ 116	+ 3
連結合計	20,359	1,839	20,500	1,500	+ 141	▲ 339

各セグメントの事業の見通し (1)

2023年4Q 見通し (vs 2023年3Q)



建築ガラス

アジア

- 高断熱・遮熱ガラス需要による出荷は堅調に推移するも、国内の補助金制度に関連した需要は一段落する見通し

欧米

- 欧州ではインフレによる景気減速などの懸念があるものの、エネルギー削減のための高断熱ガラスへの置き換え需要が出荷を下支え



オートモーティブ

- サプライチェーンの正常化による生産回復の動きとともに、従来より取り組んできた価格政策の効果が寄与するものの、一部地域は季節要因による出荷減の影響を受ける見込み



電子

ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板は価格政策の効果が寄与するものの、液晶パネルメーカーの稼働調整により出荷が減少
- ディスプレイ用特殊ガラスは主要なお客様からの受注が拡大し、出荷が増加

電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場減速の影響を受けるも、需要期となり出荷が増加
- 半導体関連製品は、EUV露光用フォトリソマスクブランクスを中心に出荷が増加

2023年4Q 見通し (vs 2023年3Q)



化学品

エッセンシャルケミカルズ

- 中国の景気回復の遅れを背景に市況は低調に推移

パフォーマンスケミカルズ

- 半導体関連向けフッ素製品の需要が底打ちし、出荷が増加
- 輸送機器向け製品の需要が回復基調に戻る



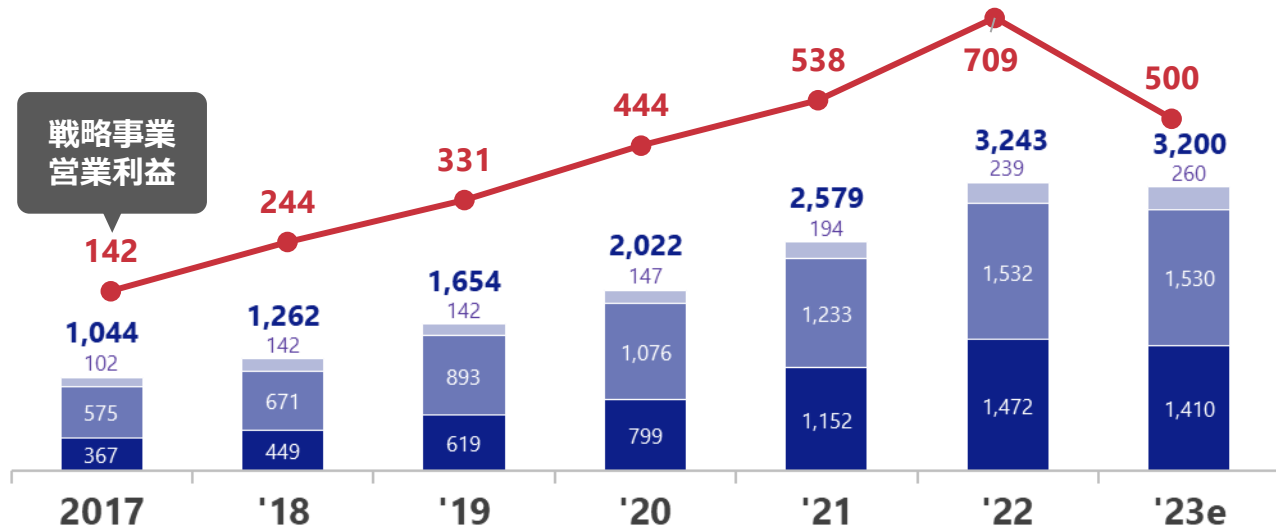
ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOの受託売上は堅調に推移するも、バイオ医薬品CDMOにおけるコロナ特需の消失、バイオベンチャーへの資金流入減による影響は継続する
- 米国バイオ医薬品CDMOの新規ライン立ち上げは想定よりも若干遅れるものの、年内に正常化する見込み

- 2023年は売上は伸び悩み、減益の見通し
- 2024年以降はバイオ医薬品CDMOの復調、EUV露光用フォトマスクブランクスなどの半導体関連製品拡大で再び成長軌道へ

戦略事業売上高推移

(億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- モビリティ新規部材（含5G通信）

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材
- エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO
- その他のライフサイエンス製品

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間	FY2022	FY2023e
設備投資額	2,366	2,400 *
建築ガラス	175	210
オートモーティブ	298	250
電子	800	650
化学品	649	900
ライフサイエンス	431	370
セラミックス・その他	14	20
消去	▲ 2	0

	FY2022	FY2023e
減価償却費	1,857	1,780 **
建築ガラス	239	240
オートモーティブ	325	330
電子	684	540
化学品	475	510
ライフサイエンス	115	140
セラミックス・その他	19	20
消去	▲ 1	0

(億円)

	FY2022	FY2023e
研究開発費	523	580

主な設備投資案件

- ディスプレイ中国G11投資（電子）
- 電子部材関連製造設備増強（電子）
- 東南アジアクロールアルカリ能力増強（化学品）
- バイオ医薬品CDMO能力増強（ライフサイエンス）など

*2023年2月8日予想金額3,000億円より変更
(変更前：建築ガラス250億円、オートモーティブ270億円、
電子930億円、化学品950億円、ライフサイエンス580億円)

**2023年2月8日予想金額1,880億円より変更
(変更前：建築ガラス240億円、オートモーティブ330億円、
電子620億円、化学品520億円、ライフサイエンス150億円)

付属資料

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

		営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
		2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022
	ガラス	273	229	819	794	4.6%	3.6%	6,000	6,300
	(ご参考) 建築ガラス	—	327	—	566	—	10.9%	—	3,000
	(ご参考) オートモーティブ	—	▲ 98	—	227	—	▲3.0%	—	3,300
	電子	368	147	971	830	5.9%	2.6%	6,250	5,650
	化学品	1,388	1,429	1,887	2,020	21.5%	18.1%	6,450	7,900
	(ご参考) 化学品	—	1,261	—	1,736	—	23.3%	—	5,400
	(ご参考) ライフサイエンス	—	169	—	284	—	6.7%	—	2,500
	セラミックス・その他	35	37	55	56	14.0%	18.4%	250	200
消去ほか		▲ 2	▲ 3	▲ 3	▲ 4	—	—	—	—
合計		2,062	1,839	3,729	3,696	10.9%	9.2%	18,950	20,050

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

営業利益に対するインパクト



為替

1%円高で

5億円*減益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額



原油

1バレルあたり

1ドル上昇した場合

3.1億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品 市況

① 苛性ソーダ

国際市況が\$1下がると**\$1M**の減益

② 塩ビスプレッド

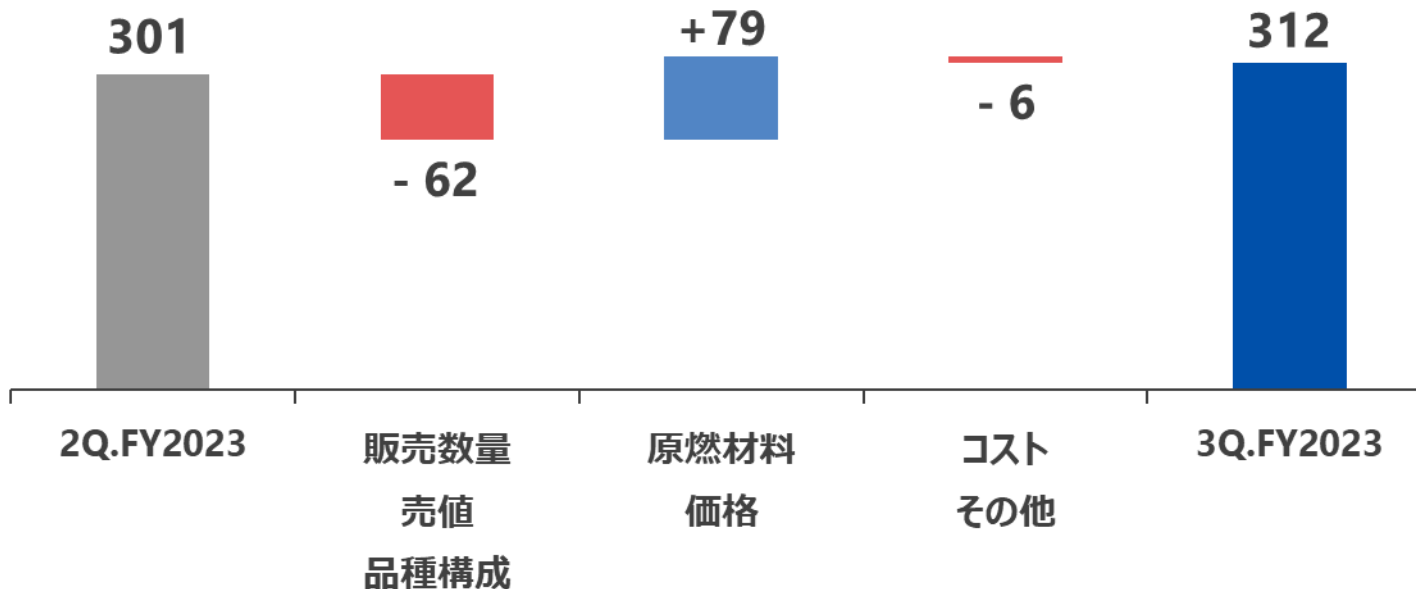
\$1下がると**\$1.2M**の減益*

*塩ビスプレッド：塩ビ市況－（エチレン市況×0.5）

営業利益増減要因分析(2Q.FY2023 vs. 3Q.FY2023)

前四半期比 11億円増益

(億円)



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	3 Q .FY2023	401	78	667	4	1,150
	3 Q .FY2022	384	84	776	2	1,247
 オートモーティブ	3 Q .FY2023	661	264	330	1	1,255
	3 Q .FY2022	568	238	305	0	1,112
 電子	3 Q .FY2023	746	84	2	3	835
	3 Q .FY2022	714	54	3	6	777
 化学品	3 Q .FY2023	1,278	80	57	12	1,428
	3 Q .FY2022	1,489	76	62	15	1,641
 ライフサイエンス	3 Q .FY2023	79	19	137	3	238
	3 Q .FY2022	67	100	181	9	356
 セラミックス・その他	3 Q .FY2023	101	-	-	106	207
	3 Q .FY2022	104	-	-	109	213
消去	3 Q .FY2023	-	-	-	▲ 127	▲ 127
	3 Q .FY2022	-	-	-	▲ 140	▲ 140
合計	3 Q .FY2023	3,266	525	1,193	-	4,985
	3 Q .FY2022	3,326	552	1,328	-	5,205

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	1-3Q.FY2023	1,160	224	2,154	10	3,547
	1-3Q.FY2022	1,064	227	2,205	6	3,503
 オートモーティブ	1-3Q.FY2023	1,867	739	1,054	3	3,662
	1-3Q.FY2022	1,550	621	832	1	3,004
 電子	1-3Q.FY2023	2,005	233	8	8	2,254
	1-3Q.FY2022	2,046	187	9	17	2,258
 化学品	1-3Q.FY2023	3,782	247	193	33	4,255
	1-3Q.FY2022	4,516	227	194	40	4,978
 ライフサイエンス	1-3Q.FY2023	236	181	485	16	918
	1-3Q.FY2022	225	261	553	27	1,066
 セラミックス・その他	1-3Q.FY2023	271	-	-	330	601
	1-3Q.FY2022	271	-	-	377	648
消去	1-3Q.FY2023	-	-	-	▲ 400	▲ 400
	1-3Q.FY2022	-	-	-	▲ 469	▲ 469
合計	1-3Q.FY2023	9,321	1,623	3,893	-	14,838
	1-3Q.FY2022	9,673	1,523	3,792	-	14,989

業績推移 (1)

建築ガラス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	(億円)
売上高	1,040	1,216	1,247	1,334	1,205	1,192	1,150	
アジア	319	361	384	405	373	386	401	
欧米	719	853	861	925	831	802	745	
(セグメント間)	2	2	2	4	1	5	4	
営業利益	73	132	86	36	93	93	83	
オートモーティブ	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	
売上高	936	956	1,112	1,174	1,184	1,223	1,255	
オートモーティブ	935	956	1,111	1,174	1,183	1,221	1,255	
(セグメント間)	1	0	0	1	1	1	1	
営業利益	▲ 33	▲ 58	▲ 63	56	48	54	59	
電子	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	
売上高	760	722	777	814	702	717	835	
ディスプレイ	450	420	346	338	358	425	418	
電子部材	304	296	425	470	341	290	414	
(セグメント間)	5	6	6	6	4	2	3	
営業利益	80	12	31	24	19	11	69	

業績推移 (2)

化学品	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	(億円)
売上高	1,617	1,720	1,641	1,626	1,410	1,418	1,428	
エッセンシャルケミカルズ	1,217	1,298	1,199	1,184	1,009	999	1,002	
パフォーマンスケミカルズ	385	410	427	429	391	407	414	
(セグメント間)	14	12	15	13	9	13	12	
営業利益	406	418	250	187	172	137	170	

ライフサイエンス	1Q.22	2Q.22	3Q.22	4Q.22	1Q.23	2Q.23	3Q.23	
売上高	332	378	356	352	332	348	238	
ライフサイエンス	316	376	347	342	321	346	235	
(セグメント間)	17	2	9	9	11	2	3	
営業利益	46	57	53	14	6	▲ 1	▲ 83	

数量・価格動向

前年同四半期比 (YoY)

				2022				2023		
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	+1割	+1割強	+1桁半ば	-1割弱	-1割弱	-1割	-数%
			価格	+2割弱	+約2割	+2割強	+2割	+約3割	+約3割	+2割強
		欧州	数量	+約1割	微減	-1割強	-約2割	-2割弱	-1割強	-数%
			価格	+4割強	+約6割	+8割弱	+約5割	+約2割	-10%台半ば	-4割弱
	自動車生産台数 (S&P global 10/3データより)	日本	数量	-14%	-15%	+24%	+9%	+13%	+28%	+11%
		北米	数量	-2%	+11%	+23%	+8%	+10%	+15%	+5%
		欧州・ロシア	数量	-17%	-4%	+22%	+7%	+18%	+12%	+8%
電子	ディスプレイパネル需要 * (Omdia社)	グローバル	面積	+4%	-4%	-9%	-7%	-15%	+4%	+13%

* Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 2Q23 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

		IFRS				
		18/12	19/12	20/12	21/12	22/12
売上高	百万円	1,522,904	1,518,039	1,412,306	1,697,383	2,035,874
営業利益	百万円	120,555	101,624	75,780	206,168	183,942
営業利益率	%	7.9	6.7	5.4	12.1	9.0
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	89,593	44,434	32,715	123,840	△ 3,152
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	7.7	3.9	2.9	10.2	△ 0.2
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	5.4	4.4	3.1	7.9	6.7
自己資本比率	%	51	50	44	49	49
D / E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.43	0.47	0.63	0.41	0.41
営業CF / 有利子負債	倍	0.35	0.32	0.29	0.54	0.33
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	399.51	200.85	147.84	559.11	△ 14.22
一株当たり配当金	円	115	120	120	210	210
EBITDA *4	百万円	259,425	231,857	208,459	383,226	253,209
為替レート (期中平均)	円/ドル	110.43	109.05	106.82	109.80	131.43
	円/ユーロ	130.42	122.07	121.81	129.89	138.04

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

AGCグループが創出したい社会的価値

- 社会的課題の解決に向け、
事業活動を通じた
5つの社会的価値を創出

安全・快適な都市インフラの実現への貢献



建築用Low-Eガラス



自動車用UVカットガラス



塩化ビニル樹脂

安心・健康な暮らしの実現への貢献



医薬品（中間体・原体）



農業（中間体・原体）



農業温室ハウス用フィルム

健全・安心な社会の維持への貢献



地域社会との関係



周辺環境への配慮



サプライチェーンの人権

公正・安全な働く場の創出への貢献



職場環境の安全



多様性



従業員エンゲージメント

持続可能な地球環境の実現への貢献



気候変動問題への対応



資源の有効利用

AGCグループが創出したい経済的価値

- 継続的に成長・進化し、**安定的にROE 10%以上**を達成していく
- 2030年には**戦略事業の営業利益を過半**とする

		2022年(実績)	2023年(予想)	2025年	2030年	2050年
経済的価値	営業利益	1,839億円	1,500億円	2,500億円	3,000億円以上	
	戦略事業営業利益	709億円	500億円	1,200億円	1,600億円以上	
	EBITDA*	3,696億円	3,280億円	4,800億円		
	ROE	-	4.2%	安定的に10%以上		
	D/E比率	0.41	0.5以下			

サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの 主な素材・ソリューション

社会的価値

気候変動問題への対応

建築用ガラス 自動車用赤外線カットガラス
バイオマスボイラー用炉材 グリーン冷媒 等

資源の有効利用

燃料電池用部材
リサイクル原料使用製品（ガラス・耐火物等）

持続可能な地球環境の実現への貢献



社会インフラの整備

建築用ガラス 苛性ソーダ
次亜塩素酸ソーダ 重曹 塩ビ 等

安全・快適なモビリティの実現

自動車用ガラスアンテナ HUD部材
車載センシング・レーダー用部材 等

情報化・IoT社会の構築

建物窓取付アンテナ 半導体製造用部材
ディスプレイ用ガラス 高速通信用部材 等

安全・快適な都市インフラの実現への貢献



食糧問題への対処

農薬原体・中間体
農業温室ハウス用フィルム 等

健康・長寿社会への対応

医薬品原体・中間体 高速通信用部材
水処理用高機能膜 等

安心・健康な暮らしの実現への貢献



サステナビリティ “健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

AGCグループの 企業活動

社会的価値

気候変動問題への対応

GHG排出量を低減する生産技術・設備開発

継続的な省エネ対策実施

等

資源の有効利用

再生原材料や再生資材の活用

埋立て処分の削減

等

社会・環境に配慮した サプライチェーン

人権尊重・
環境保護を重視したサプライヤー管理

等

地域社会との関係・ 環境配慮

水使用量削減

生物多様性保全

環境事故撲滅

地域のファン作り

等

公正・平等な雇用と 職場の安全確保

従業員エンゲージメントの向上

重篤災害・休業災害の発生防止

等

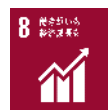
持続可能な地球環境の実現への貢献



健全・安心な社会の維持への貢献

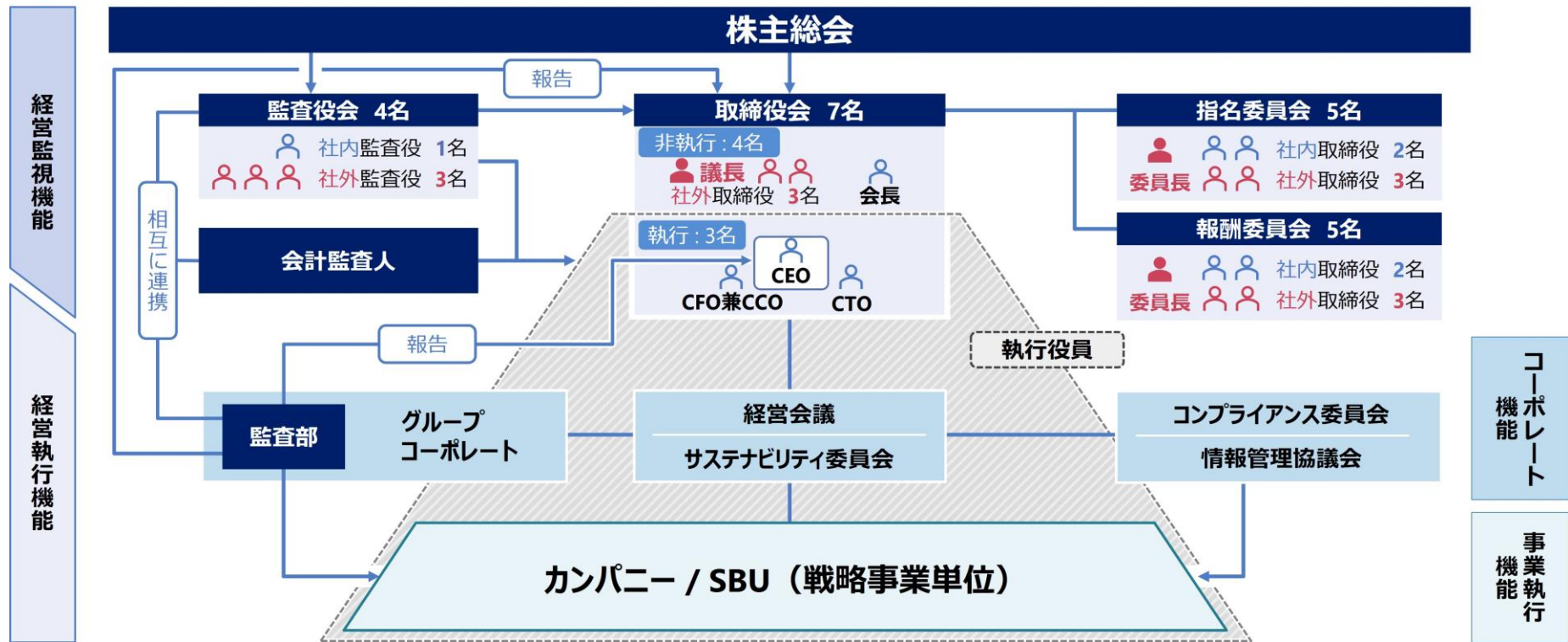


公正・安全な働く場の創出への貢献



当社のコーポレートガバナンス体制の概要図

👤 : 社内出身の取締役又は監査役 👤👤 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役



	FTSE4Good Index Series に選定
	FTSE Blossom Japan Index に選定
	CDP Climate Change A 評価 CDP サプライヤー・ エンゲージメント・リーダー に選定
	SBTi 温室効果ガス削減目標 「WB2℃」認定取得
	「第6回日経スマートワーク 経営調査」4星 の格付けを獲得

	「健康経営優良法人2023 ホワイト500」に選定
	EcoVadisサプライヤー評価 で 最高ランク を取得 「PLATINUM」：鹿島工場、 AGC Pharma Chemicals Europe社 他国内外複数拠点で高評価
	Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター 2023 に 選定
	「DX銘柄2023」に選定

2023年 主要発表事項

 発表日	 内容
1月12日	SBTi から温室効果ガス削減目標「WB2℃」の認定を取得
2月6日	A G Cとサンゴバン社、板ガラス製造におけるCO ₂ 排出量大幅削減に向け共同開発に合意
2月8日	ロシア事業について譲渡の検討を開始
2月8日	報告セグメント変更に関するお知らせ
2月8日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
3月8日	4年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定
3月16日	CDPが実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」企業に選定
3月23日	フッ素製品の製造能力増強を決定
4月27日	EUV 露光用フォトマスクブランクス生産能力を増強
5月12日	関西工場高砂事業所における液晶用ガラス基板製品の生産終了を決定
6月1日	「DX銘柄2023」に選定
6月19日	社内向け対話型AI「ChatAGC」を構築、運用開始
6月27日	世界初、実生産炉でのアンモニアを燃料に利用したガラス製造の実証試験に成功
8月31日	世界初となるガラス製造時に発生するCO ₂ を原料とした環境循環型メタノールの製造販売を検討開始
9月6日	車載用全固体電池向け硫化物固体電解質の新生産技術開発に成功
9月25日	自己株式取得状況（2023 年 9 月度）および取得終了に関するお知らせ

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge